

第 24 回多摩市自治推進委員会

平成 20 年 10 月 23 日 18 : 30 ~ 20 : 00

多摩市役所 特別会議室

出席者： 檜垣正巳委員長 江尻京子副委員長 伊藤雅子委員 大木貞嗣委員 白鳥光洋委員

事務局： 企画政策部長 企画課長 企画調整担当主査 企画課主任

審議

・市民参画白書について

今後の予定

・第 25 回 11 月 11 日(火) 18 : 30 ~

委員 本日は、市民参画白書の読みあわせをやりたいと思う。その前に訂正したいところがあれば
言っていただきたい。

委員 15 ページのところを下から 10 行目にあった「地域の実情に明るい市民の感覚で」を「市民
の感覚で多様な経験を吸い上げることができ」に訂正し、2 番目の 16 ページの 3 行目のところ
の「中立・公正な委員の頭・・・」の頭に「専門的知識を有する」というのを入れた。同じ
ところの上から 10 行目で「意見が対立することが多くなるでしょう」を「意見が対立するこ
とも考えられる」に訂正する。

委員 28 ページから協働事例集の集計の項目が変わっていたりして、その辺のところをあわせた。
31 ページの下の方に地域フォーラムというひとつの事業が面白いので事例として入れた。

「はじめに」部分の確認

委員 今までのところで意見はあるか。

委員 なし。

市民参画の定義等の市民参画白書を読むにあたっての注意点の部分の確認

委員 市民参画の定義は必要と思うか。

委員 市民参加、市民参画、市民協働の違いは大方わかるのだろうか。しっかり書いておいたほう
が良いと思う。

委員 市民参画白書を今後必要に応じて充実させるという記述があるが。言わずもがなかなという
気がしないでもない。

委員 市当局、行政当局等、いろいろ使用しているが。

委員 市行政当局が正確なところか。

委員 いろいろあるが同じことか。同じならあわせたほうが良い。

委員 市行政当局にするか。

委員 担当の部署を指すのか。

委員 市の行政全体のこと。関係者に対して礼を述べている部分は、市行政当局としておくか。

委員 行政とすると市の枠を超えたもののように思える。市や当局だと多摩市を超えたものと勘違
いする。当局とは多摩市ということか。

- 委員 当局は多摩市の各部署ということ。市行政当局ととりあえずする。
- 委員 執筆者の名前と日付はどこに入れるか。
- 委員 礼文の下に、平成 20 年何月何日として、委員の名前を列記する。

「自治意識と市民参画」の「多摩市民の自治意識と市民参画」の「自治意識の意義」の部分の確認

- 委員 自治意識の高い都市と思われていますというところがひっかかる。誰に思われているのか。
- 委員 日経新聞で評価されたが、評価理由は、自治基本条例以外に何かあるか。
- 委員 他の自治体を手本にするようなという記述があるが、手本になるような事実があったか。
- 委員 江尻委員の市民の自治意識は「いろいろな要素から成り立っていると思われていますが」のところを「・・・成り立っていますが」に訂正し、手本について、自治基本条例は一つのモデルにはなっていると思う。
- 事務局 これに関する視察が多い。

「自治意識と市民参画」の「多摩市民の自治意識と市民参画」の「市民は市政に関心があるか」の「市政への関心度」の部分の確認

- 委員 70 歳代、20 歳代の代が台になっている。
- 委員 市政への関心を分析している部分は 19 年度のデータを使って述べている。
- 事務局 事務局で 20 年度のデータに直す。
- 委員 一つの文章が長いので全体的に句読点をつけて欲しい。
- 委員 ワークライフバランスのことを会社生活と地域生活という書き方をしているが、これでいいか。

「自治意識と市民参画」の「多摩市民の自治意識と市民参画」の「市民は市政に関心があるか」の「市政のどんな部分に関心があるか」の部分の確認

- 委員 世論調査の図の中にある「ごみ」がカタカナ表記になっているが。
- 委員 「保健」が保険になっている。
- 事務局 図が直せるか確認をとる。
- 委員 障害者の「害」は平仮名なのでは。

「自治意識と市民参画」の「多摩市民の自治意識と市民参画」の「市民は市政参画の意思があるか」の部分及び「自治意識と市民参画」の「多摩市民の自治意識と市民参画」の「市民は自治基本条例を知っているか」の部分の確認

- 委員 自治基本条例の周知度について居住形態別にみている記載があるがこの部分は必要か。
- 委員 居住の意思につながるということで書いたのでは。
- 委員 だと思ったが、間借りの人の周知度は何パーセントとかは必要だろうか。
- 委員 居住形態はいらないか。
- 委員 私は重要だと思う。議論をすることは重要。

- 委員 職業別でみる記述の方ははずしたほうが良いと思う。これによって何かを示すということにならない。
- 委員 居住形態別を入れるとしたら、最も高くとか何とかに過ぎませんという表現はとっていただきたい。
- 委員 そうする。職業もとる。
- 委員 学生は。
- 委員 職業についての記述をなくすので、それだけ残すというわけにはいかない。多摩市の自治基本条例の周知度について、条例の策定に携わった人達が条例を知っている市民が少ないことを憂慮しているところがあるがどうか。
- 委員 携わった人達が憂慮しています。ではどうか。
- 委員 参考までに戦略プランについての周知度に触れているが余計か。
- 委員 参考までにという表現よりちなみに方が良い。
- 委員 戦略プランの正式名称は第四次基本計画で良いか。
- 事務局 正式名称は事務局で直す。
- 委員 自治推進委員会委員の皆さんは、戦略プランを知っているか。
- 委員 他の委員会で説明を受けたことがある。

「自治意識と市民参画」の「多摩市民の自治意識と市民参画」の「多摩市民とは」の部分の確認

- 委員 昼間市民の大部分は区政に関心がないがとあるが、区政ではなく市政の間違い。
- 委員 昼間働きに来ている人の意識はわからない。昼夜で多摩市から出て行く人、入ってくる人が結構多いことがわかった。
- 事務局 企業で市内に入ってくる人がかなり多い。
- 委員 昼間人口の3割以上が多摩市以外に住んでいるという記述はどういうことか。
- 委員 働いている人のうち3割以上は市外の人ということ。多摩市に入ってくる人より出て行く人の方が多いが、自治意識の調査は違う方法があっても良い。
- 委員 昼間人口や事業所等について記述して、多摩市民について述べることは良いと思う。また、題のつけ方が良い。企業人として、企業は地域貢献ができるかが大きな課題になっている。

「自治意識と市民参画」の「他の自治体の状況」の部分の確認

- 委員 20年9月現在の自治基本条例を制定している自治体はあっているか。
- 事務局 確認する。

「自治意識と市民参画」の「他の自治体の状況」の「市政への関心」の部分の確認

- 委員 統計で見ると他と変わらない。
- 委員 日付の括弧は鍵括弧となっているが、普通の括弧にしたほうが見やすい。
- 委員 そうする。

「自治意識と市民参画」の「他の自治体の状況」の「参画、協働の意思」の部分の確認

- 委員 協働については、多摩市は高い意欲を持つ市民が極めて多いという記述の根拠はどこか。
- 委員 6 ページで、地域で助け合う関係を希望する市民が 70% 近くいる。ここの部分を取るか。
- 委員 「極めて」は気になる。
- 委員 「多い」は残すか。
- 委員 これこれの数字なのでと書くと読む人に親切だと思う。
- 委員 次回の日程は 11 月 11 日、次々回は 11 月 27 日とする。